

【施策評価調査】

施策名	1-1-6	適正な土地利用の推進	72	施策目的	政策「1-1. 計画的な市街地整備」を実現するためには、 ①快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。 ②宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。 ③景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、①快適に暮らせるまちづくりの実現のため、現況の土地利用特性を考慮したゾーニングを行ったうえで、適正な土地利用が行われるよう、随時見直し検討を行います。
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当 リーダー	都市整備担当 阿久津 径行	施策内容	用途地域や景観地区などの適正な指定と、適切な見直しを行います。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	平成18年度において、高根沢町都市計画マスタープランを策定し、まちづくりの指針を策定した。				

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:見直し作業進捗率(%)	平成16年度市街化区域560ha	計画	0ha	123ha	178ha	206ha	560ha
	0ha	実績	→ 0ha	↓ 0ha	↓ 0ha	↓ 0ha	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	20,000	0	0	
	決算	0	4,320	0	745,500	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①地域・地区指定見直し事業費	当初	見直し作業進捗率	A	宝積寺駅西第一地区区画整理事業地内の第1種低層住宅専用地域を第一種住居地域に変更することにより、住民の利便施設等の誘導を図り、区画整理地内の居住人口の増加、町の活性化を促し、良好な環境を有する健全な市街地の形成を図る目的で進めた。			
	決算	0% / 70.0%		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	廃止
②中坂上土地区画整理事業費(※補正)	当初 1,000,000	都市計画決定手続きの終了	A	住居系開発等の適正な規制・誘導を図る地区と位置付けされており、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け計画的な市街地の整備が期待できる。			
	決算 745,500	50.0% / 100.0%		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	中坂上地区は、市街化区域編入することにより地区施設等の適正な整備や環境の保全が行われることが確実であることから、区域の変更を進めている。	都市計画マスタープランが平成27年度に中間見直し時期となるため、地域経営計画との整合性を図りつつ、ゾーニングを設定していく。
総合評価	当施策は、町のグランドデザインであると都市計画マスタープランとの整合を図りながら見直すことが前提であり、後期計画策定に向けて、住環境の整備を推進する上で他の施策との統合を含め、施策としてのあり方を検討すること。	